日本科学哲学会論文テンプレート

Abstract

Please write the abstract here (100 word).

論文テンプレートについて

このファイルは，日本科学哲学会学会誌『科学哲学』に投稿する論文のMS Word用テンプレートです．このテンプレートには論文タイトルや本文をはじめとして，Abstract，文献表，それぞれの書式が設定されており，書式を崩さずに論文を執筆することで投稿規定に沿った形式で論文が執筆できます．

論文テンプレートの書式

このテンプレートは，文字サイズ10.5ポイント，1行34字×35行に設定しています．フォントは，日本語：MS明朝，英数字：Centuryと設定しています．

テンプレートの使用方法

「ホーム」タブにある「スタイル」の右下をクリックすると「スタイル」ボックスが画面右横に表示されます．

ボックス内に「題目」，「Abstract」，「小節」，「論文本体」，「引用」，「文献表」がありますので，論文執筆に必要なスタイルを適宜選択してください．

論文執筆における注意事項

論文は，投稿規定に沿って執筆してください．このテンプレートを用いて論文執筆を行う際にも，学会ホームページと学会誌『科学哲学』にある投稿規定を参考にしてください．

（1）論文審査は，ブラインド・レフェリー制のため，原稿には著者を特定しうる表現（「拙論」，「拙著」等）は使用しないでください．

（2）著者氏名や所属については，投稿用調書に記載し，原稿には記載しないでください．論文に表紙は不要です．

（3）「論文」の冒頭には，必ず英文アブストラクト（100語程度）を記して下さい．

（4）論文の分量は，日本語，英語ともに，題名，アブストラクト，数式，表，注，文献表など一切を含めて20頁以内とします．

注釈について

注は，本文の最後に一括してください．書誌情報は，文献表にまとめてください．

文献表について

文献は「注」の後に記載してください．

例

Johnson, R. N, 2003, “Internal Reasons: Reply to Brady, van Roojen and Gert.”, *The Philosophical Quarterly* 53, 573-580.

日本科学哲学会編，2008，『科学哲学の展開1 分析哲学の誕生―フレーゲ・ラッセル』，勁草書房．